

広島大学大学院統合生命科学研究科 第 34 回 細胞生物学研究室セミナー

2026 年 9 月 16 日（水） 16:30 ~ 18:00

理学部 E 棟 104 号室

中川 真一 博士

北海道大学 大学院薬学研究院 RNA 生物学研究室 教授

非ドメイン型タンパク質の分子生物学

タンパク質は一般的に特定の形を取ることで機能を発揮すると考えられています。一方、特定の構造を取りにくい「天然変性領域」と呼ばれる領域も、多価の弱い分子間相互作用を介して、分子コンデンセートと呼ばれる柔軟な構造体の形成を誘導し、遺伝子発現制御やシグナル伝達など様々な局面で重要な役割を果たしていることが、近年急速に明らかとなりつつあります。興味深いことに、ヒトやマウスのゲノムを見渡すと、全長にわたって特定の構造を取りにくいと予測される配列を持つ、いわば「超」天然変性タンパク質が、数百のオーダーで存在しています。これら超天然変性タンパク質の生理機能はこれまでほとんどわかっていませんでしたが、実はその多くがマウスの発生に必須であることが、我々の逆遺伝学的な解析から明らかになりつつあります。本セミナーでは、これら新規機能性超天然変性タンパク質の研究から明らかとなってきた、これまで見過ごされてきた新たな分子制御機構について紹介したいと思います。

*** 本セミナーは統合生命科学研究科プログラム共同セミナーの対象です。**

学部学生・大学院生・教員、参加自由です。

皆さまのご来場をお待ちしております。

連絡先：大学院統合生命科学研究科・生命医科学プログラム 細胞生物学研究室

千原崇裕（内線：7443） tchihara@hiroshima-u.ac.jp